

令和4年度 第2回 浜名中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2022年6月16日（木） 13時30分から15時00分まで
- 2 開催場所 浜名中学校 会議室
- 3 出席委員 名古 政昭、高林 寛治、岡田 正利、平野 岳子、内山 益巳、松本 直美、
鈴木 裕二、三島 英子、
- 4 欠席委員 松島 一博
- 5 オブザーバー 橋本 裕司（橋本エンジニアリング代表取締役）、
竹内 佐織（十八屋代表取締役）、野末 典秀（野末農園社長）、
井田 正人（浜名協働C職員）
- 6 学校支援コーディネーター 高林 香代
- 7 学 校 柴田 信雄（校長）、足立 成寿（教頭）、中島 洋子（CSディレクター）
- 8 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課地域連携グループ）
- 9 傍 聴 者 なし

10 協議事項

- (1) 開会の言葉
- (2) 会長の話
- (3) 校長の話
- (4) 教育総務課の話
- (5) 議長の選出
- (6) 熟議
 - ①学校支援部、地域体験部、地域貢献部での活動内容について
 - ②今後の活動について話し合い
- (7) その他連絡事項
- (8) 閉会の言葉

10 会議録作成者 CSディレクター 中島 洋子

11 会議記録

司会の高橋から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(2) 会長の話（名古会長）

コロナについて、安心してしまふことなく感染症対策を行いながら進めていきたい。また、熟議項目が2件あるが、3年ぶりの開催のに向けて十分な熟議を重ねてほしいとの挨拶があった。

(3) 校長の話（柴田校長）

4月の3年修学旅行、5月の2年野外宿泊訓練を一齐に行う事ができた。

コロナ関係として、感染者は出ていない。

いじめ対策として、“命について考える一週間”を設けて、10年前に起きた『いじめ自殺事件』を生徒や若手職員に向けてレクチャーした。

マスク着用については、熱中対策の観点からも極力外す指導をしているが、外せない生徒が多数存在する、強制することはできない。

校則の見直しとして、校内服選択を自由にしたが生徒の自己判断が難しいようである。

生徒指導として、1割強の遅刻・早退・欠席がみられるので、楽しい授業や引きこもり生徒の受け皿を模索中である。

ギガスクール活動として、全校一斉にタイピング練習を実施している。

キャリア教育活動として、2年生の職場体験を3年ぶりに計画している。

- ・上記の報告に対して委員からの質問等はありませんでした。

(4) 教育総務課の話（堀田先生）

浜松市の小中学校の9割にあたる、130校がコミュニティースクールになった。

学校運営協議会規則にある守秘義務を守ってください。

年度末に配布していた自己評価表を、早めに配布したので振り返りの参考にしてほしい。

(5) 議長の選出

司会の高橋から名古屋会長を推挙する旨の発言があり、全員が拍手でこれを承認した。

(6) 熟議

①学校支援部、地域体験部、地域貢献部での活動内容について（資料添付）

学校支援部と地域貢献部の合同グループ及び地域体験部グループに分かれて活動報告がされた。

②今後の活動について話し合い

- ・学校支援部（内山委員）

内野古墳巡り開催 8月11日（日）[資料添付]

- ・学校支援部と地域貢献部の合同グループ（岡田委員）

浜名地区の自主防災隊が、浜名中学校区として1つになった。

防災訓練についての立ち位置が違うので摺り合わせが必要である。

(7) その他連絡事項

職業体験依頼先紹介依頼（足立教頭）[資料添付]

司会から、第3回開催は、2022年7月18日（金）午後15時分から、第四回開催は、2023年3月3日（金）午後15時からどちらも、浜名中会議室で開催する旨の報告があった。

今後も、各部での話し合いを続けて下さいと司会より一言ありました。